

Q. 2021 年度に実施した合理化の具体的成果及び 2022 年度の合理化計画について。

- ・ 不良の低減及び歩留まり改善に最も注力し、現場での生産性向上を着実に成し遂げた。特に不良低減は大幅に改善出来たので、2022 年度は検査部門等の人に頼る工程での合理化を進めていく。尚、不良低減活動は 2022 年度も継続する。この活動は、経営数値への好影響のみならず、カーボンニュートラルに向けた CO2 低減にもつながることから積極的に進めていきたい。

Q. 防振事業が苦戦している理由について。

- ・ 原材料、特に金属材料の値上がり幅が急激だった。そのため、自社努力による改善やお客様への協力依頼が遅れがちになり、結果として他の事業より経営改善のスピードが遅くなっているのが実情。解決策の一つとして、インドの鋳物工場における金属原材料の内製化を進めると共に、お客様に価格転嫁のご協力を頂くことで、今期リカバリーしていく予定。

Q. 2021 年度設備投資の総括、2022 年度の設備投資計画について。

- ・ 2021 年度実績は 35 億円。2022 年度は約 55 億円を計画している。

Q. 今期の為替想定レートについて。

- ・ 1 ドル 115 円を想定している。

以上